

グローバル・サウスの盟主としてのインドの力の源泉を考える

シャイニング・インド（マクロ関連） ～アフリカ諸国とつながりで見るとインドの存在感～

▶ アフリカ諸国へのインド系移民
（人的つながり）

グローバル・サウス（新興国・途上国の総称）の盟主として、国際的影響力を高めるインド。その背景として、世界トップの人口を基盤とした自国の経済成長に加え、環インド洋アフリカ諸国との密接な関係がある点等も考えられます。

現在、アフリカ諸国で最もインド系人口が多い国は南アフリカ（約156万人）、総人口比で最大のシェアを占めるのはモーリシャス（約71%）です。

モーリシャスは低税率国で、対インドおよびインドからの投資に対する税制が優遇されていた経緯から、経済面でも強い結びつきがあります。

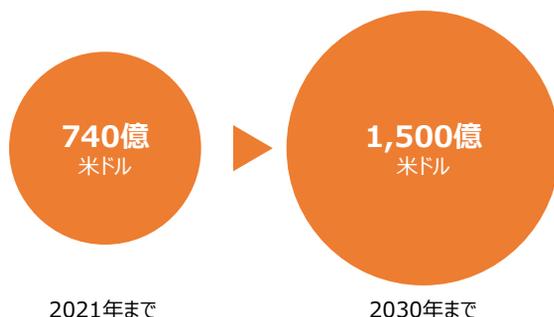
アフリカ諸国のインド系人口ランキング

	国名	インド系人口	環インド洋国
1	南アフリカ	156万人	○
2	モーリシャス	89万人	○
3	ケニア	8万人	○
4	タンザニア	6万人	○
5	ナイジェリア	4万人	
6	ウガンダ	3万人	
7	ザンビア	3万人	
	アフリカ諸国合計	284万人	
	（ご参考）日本	4万人	

▶ アフリカ諸国に対するインドの投資
（経済的つながり）

インド政府は、アフリカ諸国向けの融資・技術支援も行っています。また、インド工業連盟によると1996年から2021年まで740億米ドルであったアフリカ諸国への投資は、2030年には農業や食品加工、製造業、建設業、インフラ整備等を中心に1,500億米ドルまで伸びる見込みです。これら幅広い投資分野から推察すると、インドがこれからもアフリカ諸国の経済に意欲的に関与していく、とも考えられます。

アフリカ諸国のインドに対する信頼醸成の基盤は十分にあり、ひいては国際社会におけるインド支持の基盤となっているものと考えられます。

アフリカ諸国に対するインドの投資額
（1996年来）

▶ 「超大国」を目指し、国際的影響力を着実に高めるインド

インドは高成長が期待できる投資対象として注目を集めていますが、グローバル・サウスの一角を占めるアフリカ諸国からの支持を高めているだけでなく、アフリカ諸国との関係強化を図る中国へのけん制の狙いもあると考えられます。インドは今、国際政治経済の一翼を担う「超大国」に向けて確実に地固めをしているように見受けられ、中長期的な観点からも投資の魅力は高いと考えられます。

ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会